

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
FOLFOXIRI + BV	14日間	高度催吐性リスク

				薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
				アプレピタント125mg	1cp	1×化学療法60~90分前	●														
				アプレピタント80mg	1cp	1×朝		●	●												
				デキサメタゾン	8mg	1×朝 or 2×朝昼		●	●	●	○	嘔気によって5日目まで内服も可									
滴下順	薬剤			用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	パロノセトロン デキサメタゾン			1バッグ 9.9mg	メイン	30分	●														
2	ベバシズマブ* 生理食塩液			5mg/kg 100mL	メイン	1時間30分	●														
3	イリノテカン** 5%ブドウ糖			150mg/m ² 250mL	メイン	1時間	●														
4	レボホリナート 5%ブドウ糖			200mg/m ² 250mL	メイン	2時間	●														
	オキサリプラチン 5%ブドウ糖			85mg/m ² 250mL	側管	2時間	●														
5	フルオロウラシル 生理食塩液			2400mg/m ² 適宜調節	メイン	46時間	●	→													

*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与で
 **UGT1A1変異の有無を確認。

可能。